

琉球舞踊と琉球古典音楽

三陸
AIR

高井賢太郎

町田倫士

棚原健太

in
岩手

共賛：岩手県立岩泉高等学校 郷土芸能同好会



2023年2月23日(木・祝) 14時開演

宮古市民文化会館 大ホール

主催：特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場 音楽堂等機能強化推進事業 独立行政法人日本芸術文化振興会)

企画・制作：宮古市民文化会館



三陸AIR

琉球舞踊と

in 岩手

琉球古典音楽

2023年2月23日(木・祝) 14時開演

宮古市民文化会館 大ホール

※30分前開場

共演：岩手県立岩泉高等学校 郷土芸能同好会

その昔、琉球と呼ばれる一国であった沖縄。中国や日本、東南アジアの影響を受けながら、自らの芸能をつくりあげてきました。そんな海がきれいな島、沖縄は歌と踊りの島でもあります。今回は琉球王朝で育まれてきた琉球舞踊と琉球古典音楽を上演します。琉球舞踊は主に宮廷で育まれた古典舞踊や明治以降に庶民の風俗を題材に誕生した雑踊があります。琉球古典音楽は8886の音節からなる琉歌を基本とし歌の伴奏として三線や箏などを用いて演奏されます。沖縄から遠く離れた岩手の地で琉球の古典芸能を観る機会もそうないことと思います。伝統を育む若手琉球芸能家たちによる演奏舞で琉球を感じていただけましたらうれいす。



高井賢太郎

神奈川県出身。玉城流敏風利美の会所属(仲間若菜、安次嶺利美に師事)。日本体育大学体育学部武道学科 伝統芸能領域にて、伝統芸能を学ぶ中で琉球舞踊、組踊に出会う。沖縄県立芸術大学(修士課程)を修了。国立劇場おきなわの組踊養成研修では、人間国宝をはじめとする講師陣から組踊実技琉球舞踊を学ぶ。現在は、国立劇場おきなわ主催公演はじめ県内外での舞台出演やワークショップや組踊の普及活動に取り組んでいる。その他、琉球芸能公演の自主制作活動にも取り組んでいる。第55回琉球新報琉球古典芸能コンクール 琉球舞踊部門 最高賞受賞。



棚原健太

沖縄県出身。琉球古典音楽野村流保存会 所属(比嘉康春に師事)。19歳から本格的に三線を始める。沖縄県立芸術大学では、沖縄の伝統芸能や関連する芸能史等について学ぶ。のちに同大学院に進学。国立劇場おきなわ組踊養成研修では人間国宝をはじめとする講師陣から琉球古典音楽および組踊・琉球舞踊の地謡実技を学ぶ。現在は県内外の琉球芸能公演への出演ほか、WSやアウトリーチなどで組踊や琉球古典音楽の普及活動に取り組んでいる。2019年度沖縄タイムス 伝統芸能選考会 三線の部 グランプリ受賞。(一財)地域創造 公共ホール邦楽活性化事業 登録演奏家(令和4・5年度)。



町田倫士

沖縄県出身。琉球箏曲興陽会・琉球古典音楽湛水流保存会 所属(山内照子に師事)。幼少期からのエイサー好きが高じて伝統芸能の道へ。琉球大学 法文学部 国際言語学科琉球アジア文化専攻にて、琉球文学・中琉関係史について見識を深めたのち、沖縄県立芸術大学(修士課程)へ進学。国立劇場おきなわ組踊養成研修では、人間国宝をはじめとする講師陣から組踊・琉球舞踊の地謡実技や琉球箏曲を学ぶ。現在は、国立劇場おきなわ主催の企画公演のほか、紀尾井ホールでの公演など、県内外で舞台活動に取り組んでいる。第53回琉球新報 琉球古典芸能コンクール 箏曲部門 最高賞受賞。



リュウカツチュウー 琉球芸能活動中
三人の活動がよりよくわかるYouTubeチャンネル!
ぜひご覧ください!

チケット料金 一般*1000円 / 高校生以下*500円(未就学児無料)
プレイガイド 宮古市民文化会館 窓口 / WEB予約
お問合せ 宮古市民文化会館 〒027-0023 宮古市磯鶏沖2-22
TEL*0193-632511 / FAX*0193-645445



三陸AIRとは
宮古市民文化会館を拠点に宮古・三陸地域に滞在するアーティスト・イン・レジデンス。本事業は芸術家の活動のサポートやリサーチを支援する事業です。今回は冬の寒さ厳しい二月、沖縄から三名の若手琉球芸能活動家が宮古市にやってきました。風土の違い、郷土芸能の違いに触れながら二週間滞在し、その成果発表として岩泉高校・郷土芸能同好会のみなさんと琉球芸能のコラボレーションをお届けします。

だれでも参加OK! * 琉球を感じる ミニワークショップ & コンサート開催!

沖縄の伝統芸能とはどういったものなのか実演を交えて知ることが出来るワークショップを開催します。舞踊編では白塗りの実演を、古典音楽編では琉歌と呼ばれる沖縄の歌をみんなで即興で作ってみる体験を行います。お申し込みは宮古市民文化会館へお問合せください。